

「2016診療報酬改定 在宅医療・地域包括ケアを考える」

中央社会保険医療協議会で28年度改定の内容（いわゆる短冊）が示されました。ご周知のように、7対1要件の大きな見直しや10対1移行への緩和策を盛り込むなど、病床の機能分化を一層推し進める内容となっています。また、在宅復帰については、有床診を在宅復帰率に含める対応をはじめとする「受け皿」の拡充策が目立ちます。さらには、「同一建物」に対する診療や訪問看護についての見直しも見逃せません。今回は、山下友利氏（株）アクシンプシー代表取締役CEOを招き、「2016診療報酬改定」について迫っていきます。

日時 2月14日(日) 14:00~17:00

定員 50名(先着順)

参加費 一般:3,000円 医療経営士・介護福祉経営士:2,000円

会場 大阪産業大学サテライトキャンパス(大阪駅前第3ビル19F)

対象 医療・介護従事者、企業、一般

●主 催: 日本医療経営実践協会関西支部、日本介護福祉経営人材教育協会関西支部、株式会社日本医療企画



第1部



「2016診療報酬改定 在宅医療・地域包括ケアを考える」

演 者: 山下 友利 氏 (株)アクシンプシー代表取締役CEO)

安田生命保険相互会社、日立キャピタル株式会社、株式会社日本エル・シー・エーで勤務。医療コンサルとして経営改善業務を行なう一方、今後の医療・介護のボーダレス化を見据えて、株式会社ケア・リンクにて介護事業運営業務に係わる。現在、株式会社アクシンプシー代表取締役CEOとして講演・コンサルティング業務等を行う。

第2部

参加者意見交換会

お申し込み FAX:06-7660-1763

法人名 施設名	フリガナ	住所	フリガナ
			〒
部署・ 役職名	フリガナ	氏名	フリガナ
TEL		FAX	
E-mail			

※本申し込み書到着後、受講票をお送りいたします(先着順)。講演タイトルなど変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。